



知識とサポート Astra Data Store

NetApp
March 14, 2022

目次

| | |
|-------------------|---|
| 知識とサポート | 1 |
| トラブルシューティング | 1 |
| ヘルプを表示します | 1 |
| サポートの自動監視 | 2 |

知識とサポート

トラブルシューティング

発生する可能性のある一般的な問題を回避する方法について説明します。

https://kb.netapp.com/Advice_and_Troubleshooting/Cloud_Services/Astra

ヘルプを表示します

ネットアップでは、Astra データストアのプレビュー版をさまざまな方法で提供しています。無償のセルフサービスサポートオプションは、ナレッジベース（KB）記事や Slack チャンネルなど、24 時間 365 日ご利用いただけます。



Astra データストアプレビュー版のコミュニティテクニカルサポートを利用できます。を使用してケースを作成します ["ネットアップサポートサイト（NSS）"](#) プレビューリリースでは使用できません。フィードバックオプションを通じてサポートに連絡するか、Slack チャンネルを利用してセルフサービスで連絡できます。

セルフサービスサポートオプション

次のオプションは、24 時間 365 日無料で利用できます。

- ["ナレッジベース（ログインが必要）"](#)

Astra Data Store プレビューに関する記事、FAQ、またはトラブルシューティング情報を検索します。

- ドキュメント

現在表示しているドキュメントサイトです。

- ["ネットアップの「コンテナ」 Slack チャンネル"](#)

「コンテナ」チャンネルに移動して、同業者やエキスパートと交流しましょう。

- フィードバック用 E メール

astra.feedback@netapp.com に電子メールを送信して、あなたの考え、アイデア、懸念事項をお知らせください。

詳細については、こちらをご覧ください

- ["ネットアップにファイルをアップロードする方法（ログインが必要）"](#)
- ["ネットアップの技術情報アーティクル"](#)

サポートの自動監視

AutoSupport は、Astra データストアプレビューシステムのランタイムおよび情報を監視し、ネットアップサポートにメッセージを送信します。構成に応じて、次のシステムコンポーネントを監視できます。

- コントロールプレーン
- ストレージ

AutoSupport は、の実行時にデフォルトで有効になります "[Astra データストアプレビュー版クラスタのインストール](#)" または、AutoSupport のカスタムリソース（CR）をクラスタに適用したあとに追加します。有効にすると、AutoSupport（ASUP）バンドルが自動的にアップロードされます "[ネットアップサポートサイト（NSS）](#)" または、手動でダウンロードすることもできます。

オプション（Options）

- [\[AutoSupport triggers and scenarios\]](#)
- [\[Configure custom control plane AutoSupport collection\]](#)
- [\[Configure custom storage AutoSupport collection\]](#)
- [\[List ASUPs in the system\]](#)
- [\[Download an ASUP Bundle\]](#)
- [\[Upload a core file\]](#)

AutoSupport のトリガーとシナリオ

AutoSupport バンドルは、次の方法でトリガーされます。

- * 定期的 * : CR で定義された間隔で ASUP バンドルが作成されます。
- * ユーザトリガー * : 自分の ASUP を手動で作成して、ログを参照できます。
- * コアダンプ * : ノードにコアダンプがある場合は ASUP が生成され、コアがネットアップに送信されて詳しい調査が行われます。
- * CallHome イベントベース * : オペレーティングシステムから特定の callhome イベントから ASUP が生成されます。
- * Kubernetes イベントベース * : コントロールプレーンの特定の Kubernetes イベントから ASUP が生成されます。

これらのトリガーシナリオでは、次のいずれかの AutoSupport タイプが生成されます。

- * ControlPlane AutoSupport * : Astra データストアプレビューコントロールプレーンログと CRS のコレクション。
- * Storage AutoSupport * : ストレージ・レポートとパフォーマンス・データの集合。
- * コアダンプ AutoSupport * : システムコアダンプの集まり。

カスタムコントロールプレーンの AutoSupport 収集を設定します

コントロールプレーンイベントをレポートするカスタムの AutoSupport 収集設定を作成できます。ほとんどのインストールでは、定期的なイベントレポートがの間にデフォルトで有効になっています "[Astra データストアプレビュー版クラスタのインストール](#)"。この手順では、選択したパラメータに基づいてレポートする

AutoSupport CR を設定する方法について説明します。

手順

1. コントロールプレーンコレクション CR を作成するには、次のコマンドをカスタマイズします。

```
kubectl astrasds asup collect -c controlplane --namespace=astrads-system
```

- a. カスタムパラメータを定義します。

- `<myASUPNAME>` : 生成する AutoSupport CR の名前。
- `-e <event name>` : コレクションをトリガーするイベント名。イベント名は `component.yaml` (コントローラをサポートするためにマウントされている) で事前に定義する必要があります

例

```
kubectl astrasds asup collect -c controlplane custom-asup-name -e debug --namespace=astrads-system
```

- a. 必要に応じて、システムに追加のパラメータを追加します。

- `--cluster` : このフラグはマルチクラスタ環境が必要です。
- `--localCollection` : ローカルコレクションをイネーブルにします。デフォルトは「false」です。
- `--forceUpload` : 強制アップロードを有効にします。デフォルトは「false」です。
- `--retry` : 再試行を有効にしますデフォルトは「false」です。

カスタムのストレージ **AutoSupport** による収集を設定する

ストレージコンポーネントのイベントをレポートするカスタムの AutoSupport 収集設定を作成できます。ほとんどのインストールでは、定期的なイベントレポートがの間にデフォルトで有効になっています ["Astra データストアプレビュー版クラスタのインストール"](#)。この手順では、選択したパラメータに基づいてレポートする AutoSupport CR を設定する方法について説明します。

手順

1. 次のコマンドをカスタマイズして、ストレージ収集 CR を作成します。

```
kubectl astrasds asup collect -c storage --namespace=astrads-system
```

- a. カスタムパラメータを定義します。

- `<myASUPNAME>` : 生成する AutoSupport CR の名前。
- `-e <event name>` : コレクションをトリガーするイベント名。イベント名は `component.yaml` (コントローラをサポートするためにマウントされている) で事前に定義する必要があります

パフォーマンスイベントを使用した例：

```
kubectl-astrads asup collect -c storage -e performance example-perf-storage-asup
```

- ° `-t <iso_format> -d <hours>` : すべてのノードのストレージ ASUP を指定した期間収集します。標準の ISO 日付時刻形式 (-t) を時間単位で継続時間 (d) で使用します例 :

```
kubectl astrads asup collect -c storage -t 2021-01-01T15:00:00Z -d 24
```

- ° `--nodes <nodename>` : 指定したノードのストレージ ASUP を収集します。例 :

```
kubectl astrads asup collect -c storage --nodes example1
```

- ° `--ノードノード nodename1 、サブグループ 2 、サブグループ 3` : 指定したノードのストレージ ASUP を収集します。

```
kubectl astrads asup collect -c storage --nodes example1,example2,example3
```

a. 必要に応じて、システムに追加のパラメータを追加します。

- ° `--cluster` : このフラグはマルチクラスタ環境で必要です。
- ° `--localCollection` : ローカルコレクションをイネーブルにします。デフォルトは「false」です。
- ° `--forceUpload` : 強制アップロードを有効にします。デフォルトは「false」です。
- ° `--retry` : 再試行を有効にしますデフォルトは「false」です。

システム内の **ASUP** をリストします

次のコマンドを使用して、システム内の ASUP を名前別に表示します。

```
kubectl astrads asup list --namespace=astrads-system
```

回答例 :

| NAMESPACE | NAME | SEQUENCE NUMBER | EVENT |
|-------------------------|-------------------------------------|-----------------|---------------------------|
| astrads-system | storage-callhome.reboot.unknown-... | 1 | |
| callhome.reboot.unknown | 0 | uploaded | astrads-ds-support-tdl2h: |
| astrads-system | storage-callhome.reboot.unknown-... | 2 | |
| callhome.reboot.unknown | 0 | uploaded | astrads-ds-support-xx6n8: |
| astrads-system | storage-callhome.reboot.unknown-... | 3 | |
| callhome.reboot.unknown | 0 | uploaded | astrads-ds-support-qghnx: |

ASUP バンドルをダウンロード

このコマンドを使用すると、ローカルで収集した ASUP バンドルをダウンロードできます。現在の作業ディレクトリ以外の場所を指定するには '-o <location>' を使用します

```
./kubectl-astrasds asup download <ASUP_bundle_name> -o <location>
```

コアファイルをアップロードします

サービスがクラッシュすると、クラッシュ（コアファイル）時に関連するメモリの内容を含むファイルとともに AutoSupport（ASUP）メッセージが作成されます。Astra Data Store プレビューでは、ASUP メッセージがネットアップサポートに自動的にアップロードされますが、コアファイルを手動でアップロードして ASUP メッセージに関連付ける必要があります。

手順

1. 次の「kubectl」コマンドを使用して ASUP メッセージを表示します。

```
kubectl astrasds asup list --namespace=astrads-system
```

次のような出力が表示されます。

| NAMESPACE | NAME | SEQUENCE NUMBER | EVENT |
|----------------|--------------------------|-----------------------------------|----------|
| astrads-system | storage-coredump-2021... | 1 | coredump |
| 197848373 | compressed | astrads-ds-support-sxxn7:/var/... | |

2. 次の「kubectl」コマンドを使用して、ASUP メッセージからコアファイルをダウンロードします。ダウンロードするファイルの保存先ディレクトリを指定するには '-o オプション' を使用します

```
kubectl astrads asup download storage-coredump-20211216t140851311961680  
-o <absolute_path_to_destination_directory>
```



まれに、他のコアファイルが適切に処理されていたために、コアファイルをダウンロードできない場合があります。この場合、コマンドは「Cannot stat : No such file or directory」というエラーを返します。このエラーが表示された場合は、を実行できます "[ヘルプを表示します](#)"。

3. Web ブラウザを開き、を参照します "[NetApp Authenticated File Upload ツール](#)"ログインしていない場合は、ネットアップサポートのクレデンシャルを入力します。
4. [ケース番号を持たない *] チェックボックスをオンにします。
5. [* Closest Region] * メニューで、最も近いリージョンを選択します。
6. [* Upload (アップロード)] ボタンを選択します。
7. 前の手順でダウンロードしたコアファイルを参照して選択します。

アップロードが開始されます。アップロードが完了すると、成功のメッセージが表示されます。

詳細については、こちらをご覧ください

- "[ネットアップにファイルをアップロードする方法（ログインが必要）](#)"

Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.